

2022年5月13日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 柴田 裕希

インドネシア国パティンバン港アクセス道路建設事業
(有償資金協力)
環境レビュー方針に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2022年4月25日(月) 14:00~18:22
- ・場所：JICA 本部 2階 229 会議室及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：小椋委員、作本委員、柴田委員、寺原委員、日比委員、松本委員
- ・議題：インドネシア国パティンバン港アクセス道路建設事業に係る環境レビューについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) EIA 28032022
 - 2) EMP_EMoP (RKL RPL)
 - 3) LARAP (用地取得・移転計画) _20220331 及び Appendix 一式
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン (2022年1月)

全体会合 (第136回委員会)

- ・日時：2022年5月13日(金) 14:00~16:39
- ・場所：JICA 本部 (2階 229 会議室及びオンライン)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

代替案検討

1. 環境アセスメント報告書に記載が求められる代替案の検討について、推奨案が選定された根拠を可能な限り定量的に説明し、これを情報公開に役立てるよう実施機関に申し入れること。

社会配慮

2. 本事業による農作物への影響を回避するべく、既存の灌漑水路の機能を残すこと及び、苦情処理メカニズムや現地ステークホルダーとの協議を通して、事業実施段階においても農作物への影響の有無をモニタリングすることを実施機関に申し入れること。
3. 補償方針の「ビジネスの喪失」において、永久的な喪失では代替ビジネスが獲得されているということを前提に補償内容が記載されている。生計回復のモニタリングを通じ、本事業の影響で喪失した生計の回復が不十分な場合は、追加的な対策を検討するよう実施機関に申し入れること。

以上